サンアップ三宮大輔税理士事務所代表の三宮大輔先生（写真）は、顧問先企業の3つのアップを目指し、お客様に喜ばれるサービスの在り方を、税理士の職域にこだわらず追求しています。

――三宮先生のご経歴を伺います。

三宮　最初に勤めたのは名古屋市内にある税理士事務所です。平成18年から5年ほど勤務した後、同じ名古屋市内の税理士法人に移りました。この税理士法人には7年ほど勤め、在籍中に税理士登録をしています。

3年目に関連会社の専務取締役に就き、その2年後には税理士法人の代表を拝命するなど、貴重な経験をさせていただきました。しかし、チャレンジしたいことがあったので代表の職を1年でお返しして、平成30年に現在の事務所を開業しました。

――税理士という職業を選ばれた理由をお聞かせください。

三宮　大学在学中は就職氷河期と呼ばれ、なかなか就職先が見つからない時期でした。そこで一発逆転の方法として思い浮かんだのが、税理士の道です。

税理士を選んだ理由は父にあります。私が高校生の頃、父が過去の不動産所得の確定申告について、税務署から間違いを指摘されたことがありました。会社員で税金に詳しくなかった父は、税務署に尋ねて言われたとおりに申告したそうですが、それが間違っていたのです。

私はこのとき、税金は日本の根幹を支える制度なのに、実はあまりよく知られていないことに気付きました。この経験が税理士を職業に選ぶきっかけとなり、経営者の役に立ちたいという今の目標にもつながっています。

――経営理念や事務所の名前の由来をお聞かせください。

三宮　経営理念は「守り、繋ぎ、お客様に明るい笑顔の種を蒔こう。」です。この理念のもと、特に経営者の悩みの種となる税務調査と資金調達、相続対策の3つについては、税理士としてレベルの高いサービスを提供することに努めています。

事務所名の「サンアップ」には3（サン）アップ、すなわちお客様の「キャッシュをアップ」、そのための「利益をアップ」、それによりお客様の「満足度をアップ」という意味を込めています。もうひとつ、「Sun Up」（太陽が昇る）の意味もあります。

――事務所は明るい雰囲気で、カウンターバーまであるのですね。

三宮　カウンターバーは当事務所の「おもてなし部」の活動のひとつです。コーヒーを飲みながら税金以外の経営の悩みも気軽に相談できるような場となることを目指しています。

採用面接や整理整頓などについてのアドバイスが3アップにつながることもあるので、悩みを聞ける環境づくりは大事です。「おもてなし部」でノウハウを蓄積しながら、お客様に賛同してもらえるサービスを広げていきたいですね。

――税理士業はAIの導入などによって「奪われる仕事」と評されることもあります。三宮先生のお考えはいかがでしょうか。

三宮　機械に負けないという気持ちはあります。同時に、税理士という資格に守られなくなったときのことも考えています。もし今、税理士の資格がなくなったとしても、お客様の会社をよくして喜んでもらえるサービスを提供できる人間でありたいと思っています。

――最後に、今後のビジョンをお聞かせください。

三宮　お客様が本当に望んでいることが何かを考えて、それを臨機応変に実行するのはAIにはできないことです。新たな価値は、人と人とのつながりのなかで生まれます。「おもてなし」を通じて人と人をつなげるお手伝いをしていきたいと考えています。

――本日は貴重なお話をありがとうございました。

三宮大輔（さんのみや・だいすけ）

サンアップ三宮大輔税理士事務所代表税理士。昭和 55 年生まれ。大分県出身。中央大学卒業後、名古屋市内の税理士事務所、税理士法人に勤務。関連会社の取締役、税理士法人代表の職を経て、平成 30 年に開業。現在、57 件の顧問先の経営支援を行いながら事業拡大を目指す。

サンアップ三宮大輔税理士事務所

所在地：愛知県岡崎市十王町 2-31-1 安藤ビル 201 号
電　話：0564-64-7766